



神奈川・レスキューサポート・バイクネットワーク 会報第21号

KANAGAWA Rescue Support Bike Network News

2004年7月1日号, No. 21

第21号の目次

- 1、神奈川県・藤沢市合同防災訓練9月5日について
…太田隆行
- 2、2輪安全運転大会神奈川県大会
南部地区リーダー 辻谷さん3位入賞
- 3、大井松田ヘリポート訪問記(2004. 4. 4)
…手塚則生
- 3、春のオフロードトレーニング報告(2004. 4. 18)
…手塚則生
- 4、ノリだーのコラム (2004. 6)
…手塚則生
- 5、タンデム雑感(2004. 6)
…太田隆行

編集後記

神奈川県、藤沢市合同防災訓練要綱

2004. 6

太田 隆行

ここ2年間神奈川RBでは8都県市合同防災訓練に参加してきましたが今年は神奈川県防災局より神奈川県、藤沢市合同防災訓練への参加を打診され下記の要領で参加することとなりました。

日時は9月5日(日)9時~14時。場所は藤沢市大鋸1500の大清水スポーツ広場及び大清水高校を中心に行われます。

内容はこれから始めてゆきますが、かながわ県民活動サポートセンター、県社協、神奈川災害ボランティアネットワーク、震災がつなぐ全国ネットワーク、藤沢災害救援ボランティアネットワーク、相模原防災ボランティアネットワーク等との連携のもと、

- 1 防災ボランティアセンターの設置・運営
- 2 情報の収集・伝達
- 3 避難所の生活支援
- 4 帰宅困難者支援
- 5 防災教室

等のうちいくつかの訓練に参加、協力して行くことになります。ことに2の情報の伝達については各団体との連携が重要なポイントであり、神奈川RBの今後の活動や訓練にも活かせる内容となります。

防災拠点と藤沢市総合防災センター間でGISを活用し安否情報の提供支援、安否情報の搬送等を行う予定です。従来の8都県市合同防災訓練よりかなり実戦的なものになりますので多くの方の参加を期待

しています。

また、9月1日には8都県市合同防災訓練が行われ近隣のRBも多くの訓練に参加されることと思います。お互い連携をとり意義ある訓練にして行きましょう。

祝・第35回2輪安全運転大会神奈川県大会 辻谷さん3位入賞

2004. 5. 22

去る5月22日、神奈川県警二俣川運転免許試験場にて第35回2輪安全運転神奈川県大会が行われました。神奈川RB南部地区リーダーの辻谷さんが女性の部3位に入賞しました。今回は神奈川RBからは指導員である菊田氏を含め5人が参加しましたが辻谷さんが最高の成績でした。

日頃の精進の賜物でしょう。



さて、その辻谷さん談

去る5月22日、横浜市にある運転免許試験場にて、第35回2輪安全運転大会神奈川県大会が開催され、約80名の参加者が、日頃鍛錬してきた運転技術を競い合いました。

私がこの大会に参加するようになって4年が経ちました。初出場の時は

一体どうやって経路を回ってきたのかすら覚えていない程緊張し、すべての競技セクションで最大減点されるくらい未熟な運転でしたがそれから年を重ねる毎に、少しずつですが得点を得られるようになり今年は女性クラス3位という成績を頂くことが出来ました。

未だ満足なライディングテクニックは修得できておりませんが、この大会を通じて、技術の向上のみならず、常に安全運転とは何か、また二輪車を安全に運転するとはどういうことなのかを自らに問い続けてゆきたいと考えております。

大井松田ヘリポート訪問記

2004. 4. 4

手塚 則生

桜も凍える冷雨降る4月4日、坂本代表と手塚の二人で大井松田にあるヘリポートにお邪魔しました。今年1月の防災ギャ



ザリングで自衛隊 OB 会『隊友会』の増井さんにご紹介を頂いた『かながわ自主防災航空』の基地を見学する為です。毎月第一日曜日には飛行クラブの皆さんの定例会が行われていると事前にお伺いしての訪問でしたが、この日はやはり悪天で中止となり、我々が到着した時には誰も居ない状態でした。航空隊代表の山口さんにお電話をすると、事前の約束もなかった我々にも「折角、遠くから来て下さったのですから」と、急遽ご自宅から駆けつけて下さいました。突然の押し掛けでしたのに大変恐縮です。山口さんにはたくさんお話を聞かせて頂きました。「ヘリコプターは 200km/h で神奈川県なら 30 分程で 1 周でき、



災害時には地上の被災状況をつぶさに確認できる」「空からは無線の到達範囲も広く、アマ無線は勿論、特定省電力(特省)無線機もかなり役立つ」等々。つまり情報の

欲しい地上側も、安価で免許も不要な特省無線機を持ち、事前に飛行隊との使用周波数(チャンネル)を打ち合わせて置けば、被災状況・道路状況などを詳しく知る事も可能であると言う事。

特省無線機の事を語られたのには理由があります。アマチュア無線を上空から使用した場合には「電波が飛びすぎる」為に地上側には広



範囲に情報の混乱を与えてしまう危険すらある為です。神奈川県自主防災航空では、秦野市・大井町・テレビ神奈川等と災害時協定を結ばれて居るのですが、ヘリコプタ

一の整備費や燃料費等には大変なお金も掛かるので活動にはとても苦労されているそうです。最後に格納庫にもお邪魔して、珍しい乗り物を見て興味津々の我々の、尽きぬ素朴な質問の数々にも、とても丁寧にお付き合い頂きました。2機並んだヘリコプターは、どちらもピカピカでした。「出る時にはすぐに飛び立つので、帰った時に清掃・点検・整備をきちんとするんです」との事。うーむ、なるほど。我々のバイクも、きっとそうすべきなんですよ。反省。

山口さん、どうもありがとうございました。

春のオフロードトレーニング報告

2004. 4. 18

手塚 則生



4月18日の日曜日、神奈川県内に我々でも有料で借りられるオフロードトレーニング用の場所はないかと言う疑問から始まったこの訓練計画でしたが、当初期待を持っ

ていた幾つかの候補地もやはり難しい事が分かり、結局、今まで何度か利用した事のある“某所”にてごく基礎的な練習を中心に不整地走行訓練を行いました。オフ車乗りのくせに、いつの頃からかジャンプも怖くなった僕は起伏の激しいコースが嫌いなので、この平地スペースが好きなのです。今回は¥100 ショップで調達した小さなパイロンを並べて簡単なスラロームや8の字も作り、滑りやすい路面での低速コントロール練習を主に行ないました。参加者は、後藤さん・鈴木(K)さん



・夏賀さん・僕の4人でした。本当は、この場所ならばスクーターやオンロード車に乗る人にも転倒の恐れもそれほどなく、滑りやすい路面での良い練習が無理なくできると

思っていたので、オフロード以外のバイクによる参加も期待して居たのですが、今回の4人の中では鈴木さんが 650cc の BROS で来てくれたのみでした。とは言え鈴木さんは実は DT200WR でエンデューレースを頑張っていた時期もあると言う事で、BROS でもかなりダイナミックな走りを見せてくれました。小さなコブを使ってジャンプしたり、とっても上手いです。以前から左タイトターンが苦手な僕の相談にも、「ハンドルと胸が常に平行だと良いみたいですよ」とのアドバイスを頂き、「なるほどそれは基礎的なポイントとして聞いた事があったかも知れない。すっかり忘れていた。」と気付かされました。ハンドルを抑える腕や肩に力を入れない事は基本のはずなのに、いつの間にか妙なクセがついたのでしょう。感覚的にフォークの「立ち」が強く前輪の接地感がやけに頼りない今のバハに乗り換えてからは、バンク開始時の前輪加重をフロントブレーキリリースや着座位置などを意識しないとアンダーステア感が強く出て、とりわけターン進入以前の速度も利用してフロントトラクションを増す事の難しい低速時には「曲がれー！」と言う意識ばかりが先行して、ハンドルを力でもねじ曲げるばかりになっていた様な気がします。そう言う時にはハンドル切れ角だけに頼って車体はほぼ直立だったかも知れないので、アクセルを少し開けただけでも前輪の横スリップを更に招いた事にもなりそうです。そして特に左ターン時の苦手意識の原因になっていたのは、アクセルを操る右手首の角度の微妙な変化にもよるかも知れません。手首の角度が変われば肘の位置も変わるのでハンドルから肩までの距離も変わり、ハンドルと胸との平行も保てなくなるのが理屈。さらに力でもねじ曲げる様なクセがあれば“外側”になる腕や肩にはハンドルを“突き放す”様な動作を生み、胸との距離も開きます。こうして上半身がどんどん不安定になるとスリップを恐れつつアクセルを扱う右の手首にはま



すまず力が入る。こうして“ハンドルと胸の平行”は、右手が外側になる左ターンではかなり崩れていたのかも知れません。やはりこうした滑りやすい未舗装地での低速

練習は良いですね。いい加減なごまかしが効かない上に、転んだ時にもダメージが少ないですから。さてこの日の他のお二人はと言うと、後藤さんはパイロンを使った練習をととても丁寧に繰り返していました。大パワーのCRMではなかなか細かい扱いも難しいと思いましたがとても繊細に乗りこなされていました。夏賀さんはここでは書けない様なすごいワザに何度も挑戦していました。その為に色々「あらー」と言う事態も何度かありましたが、最後にはそのワザを完成されていました。大拍手。

前日から風邪をひいていた僕は少しだけ走ってはダラダラ休憩の繰り返しでしたが、久しぶりに「バイクに乗ったなあ」と言う充実感を感じました。お昼までのたった数時間でしたが、快晴にも恵まれて良かったです。途中、お忙しい中を梶さんも覗きにきてくれました。次回は梶さんもぜひ参加してくださいね。久しぶりに「おしろセロウ」の元気な姿も見られて良かったです。因みに夏賀さんのセロウも「おしろ色」なんです。自作の工夫に富んだパーツの数々は皆さん必見ですよ。

会員から

過ぎ行く人々

2004. 6

手塚 則生



文豪ノリだーのコラムリターンズ

【過ぎ行く人々】の巻

我が家はいわゆる抜け道に面して居ます。狭い道なのに日中はかなりのスピードで飛ばす車が絶えず、一瞬のスキを狙っての車庫入れも大変です。深夜になればどうにかやっとなりま

すが、そうすると逆に、たまに通り過ぎる音に敏感になったりもします。遠くから歩いてくるおじさんの大きなクシャミの連発に笑わされたり、元気な若者のカーステレオのズンドコに飛び上がったたり、緩い下り坂の為にママチャリブレーキの長いキキキ音に耳を覆ったり、救急車のサイレンで目が醒める事も良くあります。そして平日の深夜、ちょうど入浴中にしばしば遭遇するのが、大声で歌いながら通り過ぎる原付のお兄ちゃんです。まずは遠くに謎の叫びが突然聞こえ、次第に原付特有の全開のエンジン音も混ざりながら近づいて来ます。その頃にはその叫びがどうやら歌声らしいと言う事がわかります。とにかく甲高い声で下手くそです。そしていよいよ風呂場の窓を一枚隔てて、もう僕の耳元を通過すると言う時に「もしかしてドリカム？」などと言う事も辛うじて判明するのですが、その一瞬を境にドブラー効果を伴いながら、その歌声は闇の中に消え去るのです。浜崎あゆみらしい時もあります。とにかくパレード系がお好きな様です。いつも気持ち良さそうに唄うそんな彼も、赤信号では急にブツブツと言う独り言モードになるのでしょうか。並走する車がある時には遠慮がちな小声になるのでしょうか。唄いだしてみると1曲全部を覚えていない事に気付いて、サビの部分だけを虚しく繰り返し、最後にはなぜか悲しくなって溜息をつく事もあるのでしょうか。唄いたい気分なのに何も歌を思い出せずに適当なタラララの即興で誤魔化す時もあるのでしょうか。

・・・僕のように。(一一)

高速道路二人乗りが解禁になるといいです。規制緩和策の一環としてまたバイク文化の向上には素晴らしい事だと思います。下手の横好きバイク乗りの私にもタンデムの思い出が幾つか有ります。

これが楽しいデートの思い出であれば良いのですがいずれもむさくるしい男性しか乗せた事はありません。いつか長距離のタンデムツーリングを試してみたいですけど夢のまた夢ですか……。

表題の雑感が示す通り結論の有る話では有りませんので念の為…。さて月イチライダーの私は運転技量はすこぶる貧弱です。かといって普段から講習会に行くでもなく、その技量向上を図る努力はしていませんので技術向上を望むべくもありません。そんな私ですが何回かタンデムを経験しました。

最初は阪神大震災のときです。震災から暫く経って住んでいた西宮から勤務先の大阪市内まで通常はバイクや車で通っておりました。冬なので完全防備でした。1ヶ月ほどは信号機も壊れていましたし、道路もメチャメチャ。歩道を走るのも普通の状態でした。

しだいに道路や電車も復旧が進み、甲子園の駅まで電車が通じるようになりましたが通勤に使う阪神電車の本数もまだまだ少ない状況で



た。ある晩、同じ社宅の方が急遽大阪に出ることとなりましたが道は大渋滞で終電車には間に合わない状況、当時はタクシーなど出払っており、社宅で唯一のバイク乗りの私めの出番となりました。

実はタンデムはそのときが初めてだったのです。

且つ大渋滞のなかのすり抜けは必至の状況。また、大阪に行く方は荷物を大量に抱えての乗車体制でした。オマケに街灯も殆んど切れている夜。運転は不安、当時のバイクは250のディグリーというやつで大人二人に満載の荷物でフロントが浮き上がらんばかりの状況でした。しかしながら使命感とは恐ろしいもので何とか無事に甲子園の駅に時間どおりにつけられました。初めてのタンデムで緊張していたせいか降ろしたあとは脱力感があつたことを覚えています。あの緊張感は今も忘れられません。事故が無かったので今はいい思い出ですがあの時は経験不足、時間の制約、夜、必要以上の荷物と今では絶対に行わないであろう制約条件に溢れておりました。その是非は今も悩むところです。タンデムシートに座られた方は私がバイクのベテランと思いきっておりましたし、ましてや二人乗りが初めてだなんて思いもしなかったと思います。その意味では相手の信頼を裏切る行為をしていたわけです。

無事に着いたといういい事(良い行為)と、自信が無いのに乗せてしまったという相手を危険な目に併せているという悪事(悪い行為)をどう捉えたら良いのかな。などと思うのですね。

今でもどちらが正しいかはわかりません。

2度目は数年前。やはり人を送ってゆくときでした。そのとき、私の体調は不良(前日に肋骨骨折)でしたが以前からの約束であった為20キロほど離れた駅まで知人に乗せてゆく事となりました。このときも体調不良の状態に乗せて良かったのかどうかをあとで考えました。お金がかかってもタクシーでも呼べば良かったのでは?とか。

このときもただで早くお送りしたという良い事と、体調不良で技量不足



のものが相方を危険な目にあわせるという悪い事が同時進行していたわけで・・・。

人間の行動の多くには良い事と悪い事の両面があると思います。免許を持ち資格がある

と言うことと自信を持って乗せられるという事は全く異質の事だと思うのです。

ここで思うのは最低限相手方とはフィフティー・フィフティーで有りたいということです。私がバイクに乗るときはまずもってひざ、ひじ、肩、背中にパットが着いている服を着ていますし最低でもくるぶしまでは隠れる靴を履いています。

しかしながら今まで後ろに乗せた方はみな軽装備で半袖の方もおられました。その是非はいつも悩むところです。その後も何度か機会がありましたが高んたかんだと理由をつけて出きるだけタンデム走行は避けています。

しかしながら有事の際ははどうでしょう?今までの経験から、また自分の性格を分析すると結局何らかの自らを納得させる理由をつけて決行してしまうのではないかと考えられます。価値判断の基準は一定ではありませんから。また状況や条件は絶対的ではなく変化に応じた相対的なものですから。

タンデムの条件として当たり前ですが自分と同等以上のガード類の装着。車両の整備。慎重な運転を心掛ける。などが有ろうかと思いますが、何よりは練習と経験です。今年下半期は乗車技術の向上と経験を積む事を心掛けたいと思います。

夢のまた夢を実現する為にも。また有事の際の行動の為にも。

■□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■

【その他のイベント】

運営ミーティング 8/1、9/12

ボランティアのための救護法研修会・7/20、8/16、9/21

- - ! ! お知らせ ! ! - -

★神奈川RB携帯電話用サイト開設中★

<http://k.excite.co.jp/hp/u/krpkrb/>

(i-mode など各社対応)

編集後記

2004年ももう半分が過ぎました。私も北関東に来て3ヶ月、住めば都とは良く言ったものです。都会の喧騒から離れていると心まで豊かになってくるものです。また、仲間は少ないですが名所、旧跡には事欠かず、バイク乗りを楽しんでいます。今月は北海道にも行く予定? 皆さんも是非北関東にお出でください。

ところで今回の会報はさながらノリダーのページの様になってしまいました。私の取材不足から手塚さんに記事のお願いをしてしまいました。この場を借りて御礼申し上げます。他の皆様の投稿もお待ちしています。(お)

神奈川RB事務局

代表:坂本篤哉、事務局長:手塚則生

郵送先:〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2

かながわ県民活動サポートセンターレターケース No.81

Fax:045-312-1862(取次ぎ:レターケース No.81 宛て)

URL: <http://www2.airnet.ne.jp/krb/>

バイクによる災害時救援活動支援ボランティア

神奈川・レスキューサポート・バイクネットワーク会報(年4回発行)

発行者:神奈川RB会報担当 太田隆行

□■□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■□□□■

神奈川RB会報発行にあたりまして、お好み焼き「おにがわら」様のご支援を頂いております。みんなで行きましょう!



関西風・広島風 お好み焼き おにがわら

店主:中島信義 山梨県北巨摩郡大泉村 Tel:0551-38-4030

JR小海線甲斐大泉駅北約1.5km・ダイヤモンド八ヶ岳ホテル前

夏季(7・8月) 11:30~14:30、17:30~20:30(火・水定休、祝日は営業)上記以外の期間 11:30~14:30、17:00~20:00(火・水定休)

※おにがわらでは新メニューを用意して皆様のお出でをお待ちしています。

※念の為営業を確認の上お出かけください。